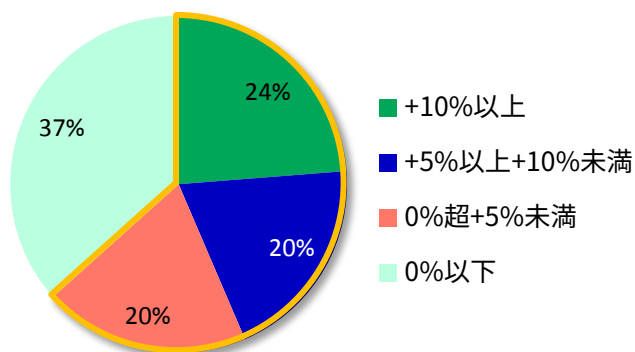


米国銀行の2019年第4四半期の決算概要 および今後の見通し

米国銀行の2019年第4四半期の決算が、ほぼ出揃いました。決算を発表した銀行のうち、前年同期比で6割超が増益、さらには約7割の銀行が市場予想を上回る結果となっています。また、約9割の銀行において貸出残高の拡大を示しています。

米国銀行の2019年第4四半期の決算概要

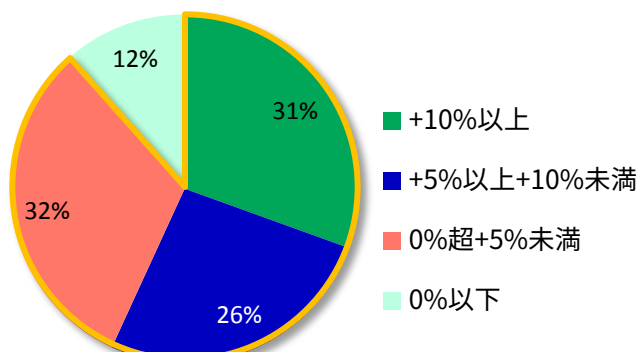
米国銀行株式指数構成銘柄のEPS
(1株当たり純利益) 増減率 (前年同期比) の内訳



EPS増減率平均 : +8.8%

*四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

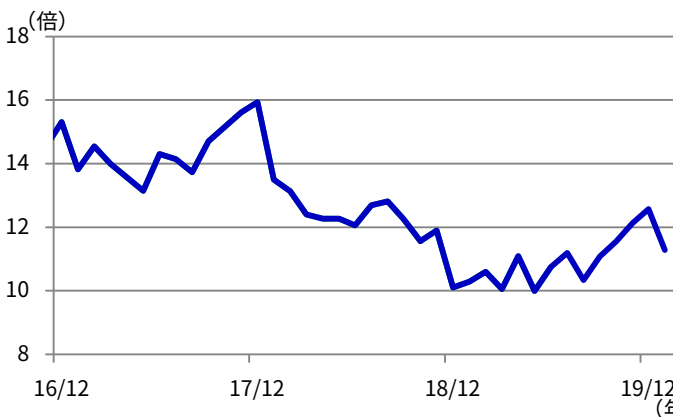
米国銀行株式指数構成銘柄の
貸出残高の増減率 (前年同期比) の内訳



貸出残高増減率平均 : +12.6%

米国銀行株式のバリュエーションおよびパフォーマンス推移

米国銀行株式の予想PERの推移
(2016年12月末~2020年1月末、月次)



米国銀行株式のパフォーマンス推移
(2016年12月末~2020年1月末、日次)



米国銀行株式指数：S&P総合1500銀行株指数（配当込み、米ドルベース）

*上記決算概要は2020年1月末現在の米国銀行株式指数の構成銘柄のうち、決算情報が入手できたものを集計しています。

出所：ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

米国銀行株式の今後の見通し

昨年7月以降、米国では3回の利下げが実施されたことなどから、米国銀行の利ざやに対する縮小圧力が高まりました。一方、FRB（米連邦準備制度理事会）は、当面現在の政策金利を維持する姿勢を示していることから、今後は利ざやも安定的に推移すると予想されます。

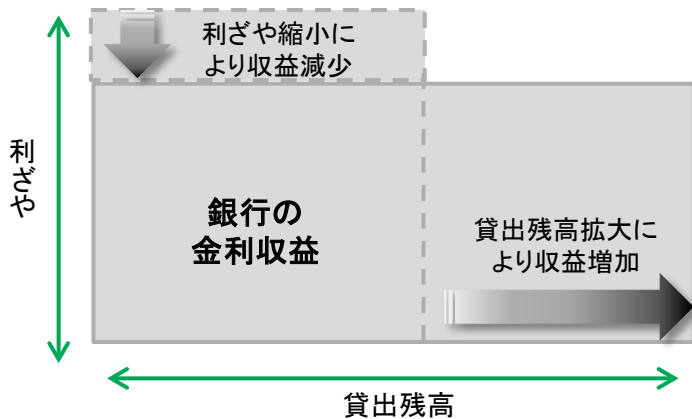
また、米国経済の緩やかな成長を背景に、銀行の貸出残高は拡大しています。今後も、米国経済の緩やかな成長を背景に、銀行の貸出残高拡大は継続し、銀行の金利収益は増加していくと考えています。

加えて、今後も活発なM&A（買収・合併）による事業拡大、効率化が見込まれること、信用コストが低く抑えられていること、コスト削減、自社株買いなどにより、米国銀行の利益成長は継続すると考えられ、2020年の米国銀行のEPS成長率は1桁台半ば程度になると予想します。

新型コロナウイルスの感染拡大、米中貿易摩擦、地政学リスクなどが株式市場のボラティリティ（価格変動性）を高める要因となっており、これらの事態の進展には注視が必要と考えます。一方、米国銀行を取り巻くファンダメンタルズは良好であり、足元のバリュエーションは割安な水準にあると見られることから、引き続き、米国銀行株式には魅力的な投資機会があると考えられます。

銀行の金利収益に与える 利ざやと貸出残高の関係（イメージ図）

- ✓ 銀行の収益は、主に『貸出残高』と『利ざや』の影響を受けます。



※上記はイメージ図であり、すべての銀行の金利収益が上記のようになることを示唆・保証するものではありません。

【ご留意いただきたい事項】

●当資料は、情報提供を目的としてマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）が作成した参考資料であり、特定の有価証券等の取得勧誘や売買推奨を行うものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報に基づいておりますが、当社がその正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の記載内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更される場合があります。●当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。●当資料の一部または全部について当社の事前許可なく転用・複製その他一切の行為を行うことを禁止させていただきます。●当資料に記載された個別の銘柄・企業名は参考情報であり、当社がこれらの銘柄について取得勧誘や売買推奨を行うものではありません。また、将来の組入れを示唆または保証するものではありません。●当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。●当資料に記載された見解・見通し・運用方針は作成時点における当社の見解等であり、将来の経済・市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第433号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社は、2020年4月1日付で社名をマニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社に変更いたします。

※当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。「ご留意いただきたい事項」を必ずご覧下さい。